



進路保障とは

- 進路の実現を阻む差別等をなくす。
- 全ての子どもの確かな自己実現を図る。
- 差別を乗り越える力、差別をなくす力を高める。



子ども一人一人の自己実現のために仲間と共に将来を思い描き、切り拓いていく力を育む取組です。

令和6年度課題別研究会「進路保障」

今日の話聞きながら、担任をしているある子どものことが頭から離れませんでした。まずは、その子どもの話をしっかり聞くことから始めます。【参加者の感想から】

6月に伊佐市で開催した研究会では、子どもの育ちをつなぐ進路保障の取組について、講座やトークセッション、実践発表が行われました。

参加者は、子どもたち一人一人の自己実現のために、私たち教職員はどのように向き合い、関わればよいか、議論を深めました。

全ての子どもたちの教育や就職の機会均等のために

進路保障は、同和地区の子どもたちの教育と就職等における差別をなくし、これらの機会均等を保障することから始まりました。

現在の進路保障の原点と言える代表的な二つの取組を紹介します。

教科書無償給与への取組



小学校の入学式。教室の机の上には、教科書が入った左の袋が置かれています。目を輝かせながら、袋の中をのぞき込む1年生。毎年繰り返されている小学校入学式当日の光景です。

部落差別が原因で就労や家庭の経済状況が不安定なために教科書を買うことができず、学校へ行きたくても行くことのできない子どもたちがいました。

高知県の、ある同和地区の親たちの「子どもたちを学校で学ばせたい。」という思いから始まった「教科書無償給与の確立運動」は、全国に広がり、「義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律」が公布・施行されました。現在も全ての子どもたちの就学の機会を保障することにつながっています。



小学校6年生社会科学習指導案

[「教科書無償給与への取組を通して」](#)

「社用紙」から「統一応募用紙」へ

「本当のことを書いたらどうなるのか…」
ペンが止まった高校生たちの思い



昭和48年、当時の労働省、文部省、全国高等学校長協会の協議により、「全国高等学校統一用紙」が制定されました。

「全国高等学校統一用紙」（統一応募用紙）ができるまでは、会社が独自に作った就職応募用紙（社用紙）が使用されていました。

当時の社用紙には、同和地区の子どもたちをはじめ、社会的・経済的に被差別状況にある子どもたちが排除される差別的な内容が含まれていました。

子どもたちの置かれた被差別状況に気付いた教職員たちの取組から、「社用紙」を見直す運動が始まり、幾度かの改訂を経て、現在に至っています。



進路保障に係る学習で活用できる

[ワークシート](#)

職員研修等で、二つの取組を知ることを通して、全ての子どもたちの進路を保障する取組について、何ができるか意見を交流する機会にしましょう。